

◎令和4年度 森林環境譲与税の使途の公表

神山町の森林環境譲与税の使途について次のとおり公表いたします。

| 事業区分 | 事業名 | 事業総額（千円） | | | | 事業内容 | 税導入の効果 |
|-----------------------|-------------------|-----------|-------------------|----------------|--------------------------------------|--|---|
| | | (A) + (B) | (A) うち森林環境譲与税（千円） | (B) うち他の財源（千円） | (C) 「(A) うち森林環境譲与税」のうち、令和5年度への繰越（千円） | | |
| ① 意向調査の準備作業、森林整備の準備作業 | 森林境界の明確化 | 18,304 | 18,304 | | | 境界未確定の森林の現地調査 事業は民間業者に委託。 | 【ワンフレーズ】 税活用により、 ・町内の1地区674名、794haを対象に意向調査を行い、324名から回答を得た。 ・未確定の森林359.25haの明確化調査を行った。 ・里山周辺の私有林の森林整備に補助を行った。 ・地域林政アドバイザー2名を雇用し、林政振興に取り組んだ。 |
| ① 意向調査の準備作業、森林整備の準備作業 | 林地台帳システム改修業務・保守業務 | 4,543 | 4,543 | | | 林地台帳、森林GIS等関連情報の更新費用及び保守費用。 | |
| ② 意向調査、集積計画等作成 | 消耗印刷費 通信運搬費 | 87 | 86 | 1 | | 森林所有者への意向調査に伴う、封筒印刷代、通信費など。 | 【詳細】 地域林政アドバイザー2名を雇用し、意向調査、林業振興施策に取り組んだ。 境界未確定の森林境界明確化を行い、旧村の1地区の森林所有者に対して意向調査を行った。 町産材振興を目的に協議会を組織し、川上から川下への取り組みを行い、町産材のブランド化、町産材の証明に取り組んだ。 |
| ③ 私有林整備 | 里山環境整備保全事業補助金 | 3,245 | 3,244 | 1 | | 里山林の森林整備について補助を行う。 事業規模0.01～0.3ha、補助対象：伐採、集積、搬出、運搬、植栽、鳥獣害防止施設、下刈り等。 | 結果、町発注事業での町産材利用の指定を行うなど地域材振興に結びついた。 |
| ⑥ 林道・林専道の整備等 | 林道費 | 6,846 | 2,608 | 4,238 | | 林道・林業専用道の開設工事及び管理に伴う重機借り上げ・資材支給及び、林道舗装工事。 | 今後は、意向調査を地区単位で継続して進め、森林整備に結びつけるとともに、新たな森林整備の方針を検討する。 |
| ⑩ 専門員の雇用 | 臨時職員等賃金 | 9,097 | 2,600 | 6,497 | | 意向調査及び林政振興のため地域林政アドバイザーを雇用する。 | |
| ⑯ その他（木材・普及啓発関係） | 神山町林業活性化協議会補助金 | 770 | 770 | | | 町内の林業関係団体で組織し、町産材の振興及び川上から川下への取り組み、木質バイオマス利用の検証、啓発活動について運営補助を行う。 | |
| ⑯ その他（木材・普及啓発関係） | 神山町町産材認証機構補助金 | 53 | 53 | | | 町産材の認証を行い、地域産材の振興に努める団体の運営補助を行う。 | |
| ⑰ 基金積立 | 神山町森林整備推進基金への積立 | 18,500 | 18,500 | | 18,500 | 令和5年度以降の森林境界明確化等、事業規模の拡大を図るための積立。 | |